

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

2019年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			法令で定められた施設基準を満たしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			法令で定められている人員基準に加えて、児童指導員を1名配置しています。
	3	事業所の設備等について、利用者に応じた配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			活動に集中しやすいように、活動場所をパーテーションで区切っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			職員全員で定期的に会議を開き、子どもの情報共有を行い、個々に合わせた支援に取り組んでいます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者向け評価表によるアンケート調査を実施し、業務改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			当事業所ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	第三者による外部評価については、今後必要に応じて実施を検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			定期的に内部研修の実施、外部研修への参加を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			児発管を中心に、子どもの状況に合わせて適切にアセスメントを行ったうえで、個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			国立特別支援教育総合研究所のアセスメント表をもとに独自のアセスメント表を作成して使用しています。また、医療機関で行った発達検査なども参考にしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか			<input type="radio"/>	定期的に会議を開き、活動内容について話し合う機会を設けています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			子どもの特性に合わせて、活動内容に変化をもたせるプログラムを作成しています。
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			アセスメントをもとに、子どもの状況に応じて職員間で協議をしたうえで、個別支援計画の策定にあたっています。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			担当職員間で、支援前に支援内容について確認を行っています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			担当職員間で、支援終了後に支援内容の振り返りを行っています。
16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			日々の活動について記録をとり振り返ることで、支援を見直し改善を行っています。	

	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリングの時期に合わせて見直しを行っています。
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		放課後等デイサービスガイドライン総則に基づく支援を心がけています。
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管または担当職員が参画しています。
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		保護者や相談支援専門員を通じて学校との情報共有を図っています。
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	移行会議などに参画できる体制を整えています。
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	移行会議などに参画できる体制を整えています。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	他機関の研修への参加に努め、外部の専門家による研修を受けています。
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	子どものニーズとして上がった場合は、当事業所でできることを検討します。
	25	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	現在参加しておりませんが、今後は参加していく予定です。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		お迎えの時や連絡帳でその日の様子や支援の内容をお伝えしています。
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	こども療育センター主催のペアレントトレーニングに参加し、職員間でペアレントトレーニングへの理解を深めて行く予定です。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		運営規程、支援の内容、利用者負担等について、見学時および契約時に説明しています。また、事業所内に運営規定および重要書類を掲示しています。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者から要望があった場合には、適宜相談を行っています。
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者同士が話し合える場を今後検討します。

	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		事業所内に苦情受付の担当者と責任者を設け、公的な苦情受付窓口も合わせて契約時に保護者に説明しています。
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	事業所内とHPに活動概要や休業日等のお知らせを掲示しています。
	33	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の取扱いについては、全職員で注意を払っています。
	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		わかりやすい伝達手段を考慮しています。
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	事業所で開催するイベントなどに、近隣住民を招待するなどの試みを考えています。
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	各種マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しています。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		職員で避難訓練を年2回行っています。今後、指定避難場所への誘導訓練も予定しています。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止研修に参加し、職員へ周知しています。
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在、身体拘束を必要とする機会はありません。今後、そのような場合も想定し、マニュアルの策定を検討しています。
	40	事前に、服薬やてんかん発作などの子どもの状況を確認しているか。	○		フェイスシートや保護者を通じて確認しています。また、支援を行う中でも、適宜確認を行っています。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーの有無について保護者を通じて確認しています。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットが起こった際には、報告書を作成しています。また、改善策を全職員で検討し再発防止に努めております。